

バックアップを使用したTLS対応NDDBスイッチの設定

内容

[はじめに](#)

[問題](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[バックアップ手順](#)

[再構築手順](#)

[方法1:USBディスクを使用する](#)

[方法2:SFTPクライアントを使用する\(WinSCP\)](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、Nexus Dashboard Data Broker(NDDB)スイッチを再構築する標準的な手順について説明します。

問題

この手順は、NDDBスイッチを交換した場合に実行します。

前提条件

要件

スイッチのリビルドプロセスを開始する前に、次の項目が事前に準備されていることを確認します。

- ファームウェアファイル：このsoftware.cisco.comから正しいNDDBスイッチソフトウェア

をダウンロードします。

- Backup Configuration File for Recovery:最新のスイッチバックアップファイル。
- Switch TLS certificate and private key Files for Recovery: NDDDBスイッチとコントローラ間の安全な接続を可能にする証明書ファイル。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- ハードウェア : Nexus C93180YC-FX3スイッチ
- NXOSバージョン:10.4.5.M.bin([リンク](#))
- ファイル転送ユーティリティ : WinSCP(Windows Secure Copy)
- ファイル転送デバイス : 32 GB USBドライブ
- SSH/コンソールクライアント : SecureCRT v9.6

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

バックアップ手順

この手順では、運用チームがバックアップファイル(.cer)と.key (TLS証明書とキー) を収集する手順の概要を説明します。



注 : 定期的なバックアップについては、組織の指示に従ってバックアップ計画を実施し、リビルドプロセスを開始する前にそれらのバックアップにアクセスできることを確認してください。

ステップ 1 : SecureCRT/Puttyを使用してSSHでIPを切り替えます。

ステップ 2 次のコマンドを実行して、スイッチ上でローカルにバックアップを作成します。

```
#configure terminal
#feature sftp-server
#copy running-config conf.<Switch IP/Hostname>
```



注：<Switch IP/Hostname>変数は、現在バックアップされているスイッチのIPアドレスまたはホスト名を示します。

ステップ 3 WinSCPでSFTPを使用して、NDDDBスイッチIPにログインします。bootflash/ディレクトリに移動し、conf.<Switch IP/Hostname>ファイルをローカルマシンにダウンロードします。

また、ブートフラッシュ (TLS証明書) からスイッチに.cerおよび.keyファイルをダウンロードします

次に例を示します。

- スイッチ1 - switch1.cer / switch1.key
- スイッチ2 - switch2.cer / switch2.key

再構築手順

この手順では、Nexus Dashboard Data Broker(NDDDB)スイッチを回復する2つの方法について説明します。どちらの方法を選択しても、リカバリプロセスを完了できます。



注：

1)古いスイッチステータス：この手順では、既存のNDDDBスイッチが回復不能であると想定しています。元のスイッチに引き続きアクセスできる場合は、構成の競合を防ぐために、再構築プロセスを開始する前に、電源ケーブルを取り外して元のスイッチの電源を完全にオフにする必要があります。

2) 管理ネットワークのケーブル配線とラック配線：新しいスイッチのラック接続/スタッキングと同じ管理ネットワークのケーブルを新しいスイッチに移動した (方法2) 。

3)新しいスイッチのリビルドが完了するまで、データケーブルを移動しないでください。

方法1:USBディスクを使用する

ステップ 1：スイッチのバックアップファイル、バックアップ手順で収集したTLSファイル、およびダウンロードしたファームウェアファイルをUSBドライブにコピーします。

ステップ 2 スイッチのコンソールにラップトップを接続し、スイッチにUSBドライブを接続します。

ステップ 3 SecureCRT/Puttyを使用してスイッチのコンソールに接続し、ブートアッププロセスをモニタします。

ステップ 4 Abort Power On Auto Provisioningプロンプトが表示されたら、「Abort POAP Process」メッセージが表示されるまでyesと入力してEnterキーを押します。

```
Waiting for system online status before starting POAP ...
2026 Mar 25 10:46:07 switch %$ VDC-1 %$ %ASCII-CFG-2-CONF_CONTROL: System ready
Starting Auto Provisioning ...
2026 Mar 25 10:46:13 switch %$ VDC-1 %$ %POAP-2-POAP_INITED: [
] - POAP process initialized
Done
Abort Power On Auto Provisioning [yes - continue with normal setup, skip - bypass password and basic configuration, no - continue with Power On Auto Provisioning] (yes/skip/no)[no]:
```

ステップ 5 厳密なパスワードポリシープロンプトでEnterキーを押して、管理者パスワードを設定するためのスイッチ設定プロセスを開始します。任意のパスワードを選択し、後で参照できるように記録しておきます。

パスワードを設定した後、noと入力して以降の設定を拒否します。

ステップ 6 ログインプロンプトが表示されたら、ユーザ名としてadmin、新しく設定したパスワードを入力して、switch# コマンドプロンプトにアクセスします。

ステップ 7 イメージファイルとバックアップコンフィギュレーションファイルをコピーするには、次のコマンドを実行します。

```
<#root>
switch#copy usb1:
nxos-image.bin
bootflash:
switch#copy usb1:c
onf.
```

```
bootflash:
```

また、.cerファイルと.keyファイルをUSBからブートフラッシュにコピーします。例：スイッチ1:

```
#copy usb1:switch1.cer bootflash:
```

```
#copy usb1:switch1.key bootflash:
```

ステップ 8 Nexus Dashboard Data Broker (NDDDB) スイッチをアップグレードするには、特定のソフトウェアバージョンのドキュメントを参照してください。 [NX-OSソフトウェアのアップグレードおよびダウングレードガイド](#)

ステップ 9 スイッチが正常にリブートされたら、次のコマンドを実行します。

```
switch#copy conf.<switch IP/Hostname> startup-config
```



注：reloadコマンドを使用してスイッチをリロードすると、スイッチのリビルドが完了します。



注意：この段階では、ステップ4で設定したパスワードは無効です。アクセスは、元のスイッチ管理者クレデンシャルを使用して認証される必要があります。また、AAA（認証、認可、アカウントिंग）が有効な場合は、ローカル管理アクセスが置き換えられるか無効になります。

ステップ 10 元のNDDDBスイッチで使用されていた対応するポートにデータケーブルを再接続します。

ステップ11:障害が発生したスイッチに関連付けられているNDDDBコントローラ (https://NDDDB_Controller_IP:8443) にアクセスし、次の手順を実行します。

- NDDDB GUIで、[Devices]に移動し、ステータスがREDのスイッチを見つけます。
- 障害が発生したスイッチを確認し、Actionsをクリックして、Rediscoverを選択します。完了すると、スイッチのステータスが緑色に変わります。



警告:再検出はポリシーのプッシュをトリガーし、短期間のサービスの影響を及ぼす可能性があります。この操作は、スイッチのステータスがREDの場合にのみ実行します。

方法2:SFTPクライアントを使用する(WinSCP)

ステップ 1: スイッチのバックアップファイル、バックアップ手順で収集したTLSファイル、およびダウンロードしたファームウェアファイルを、指定されたリンクからワークステーションにコピーします。

ステップ 2 スイッチのコンソールにラップトップを接続し、ブートアッププロセスをモニタします。

ステップ 3 Abort Power On Auto Provisioningプロンプトが表示されたら、「Abort POAP Process」メッセージが表示されるまでyesと入力してEnterキーを押します。

```
Waiting for system online status before starting POAP ...
2026 Mar 25 10:46:07 switch %$ VDC-1 %$ %ASCII-CFG-2-CONF_CONTROL: System ready
Starting Auto Provisioning ...
2026 Mar 25 10:46:13 switch %$ VDC-1 %$ %POAP-2-POAP_INITED: [
] - POAP process initialized
Done
Abort Power On Auto Provisioning [yes - continue with normal setup, skip - bypass password and basic configuration, no - continue with Power On Auto Provisioning] (yes/skip/no)[no]:
```

ステップ 4 厳密なパスワードポリシープロンプトでEnterキーを押して、管理者パスワードを設定するためのスイッチ設定プロセスを開始します。任意のパスワードを選択し、後で参照できるように記録しておきます。

パスワードを設定した後、noと入力して以降の設定を拒否します。

ステップ 5 ログインプロンプトが表示されたら、ユーザ名としてadmin、新しく設定したパスワードを入力して、switch#コマンドプロンプトにアクセスします。

ステップ 6 次のコマンドを実行して、新しいスイッチに管理IPを設定します。スイッチのIPアドレスが、障害が発生したスイッチのIPアドレスと一致していることを確認します。

```
<#root>
```

```
#configure terminal
#interface mgmt0
#ip address
```

/

```
#vrf context management
#ip route 0.0.0.0/0 <Gateway IP>
#feature sftp-server
#copy run start
```

ステップ 7 WinSCP経由で新しいスイッチIPに接続するには、SFTPプロトコルと管理者クレデンシャルが必要です。これらのファイルをスイッチのbootflash/ディレクトリに転送する必要があります。

- nxos64-cs.10.X.X.X.bin
- conf.<switch IP> (バックアップファイル)
- .cer (TLS証明書)
- .key (TLS秘密キー)

ステップ 8Nexus Dashboard Data Broker(NDDDB)スイッチをアップグレードするには、特定のソフトウェアバージョンのドキュメントを参照してください。 [NX-OSソフトウェアのアップグレードおよびダウングレードガイド](#)

ステップ 9 スイッチが正常にリポートされたら、次のコマンドを実行します。

```
switch#copy conf.<switch IP/Hostname> startup-config
```



注：reloadコマンドを使用してスイッチをリロードすると、スイッチのリビルドが完了します。



注意：この段階では、ステップ4で設定したパスワードは無効です。アクセスは、元のスイッチ管理者クレデンシャルを使用して認証される必要があります。また、AAA (認証、認可、アカウントिंग) が有効な場合は、ローカル管理アクセスが置き換えられるか無効になります。

ステップ 10 元のNDDDBスイッチで使用されていた対応するポートにデータケーブルを再接続します。

ステップ 11 障害が発生したスイッチに関連付けられているNDDDBコントローラ (https://NDDDB_Controller_IP:8443) にアクセスし、次の手順を実行します。

- NDDDB GUIで、[Devices]に移動し、ステータスがREDのスイッチを見つけます。
- 障害が発生したスイッチを確認し、Actionsをクリックして、Rediscoverを選択します。完了すると、スイッチのステータスが緑色に変わります。



警告:再検出はポリシーのプッシュをトリガーし、短期間のサービスの影響を及ぼす可能性があります。この操作は、スイッチのステータスがREDの場合にのみ実行します。

関連情報

- [NX-OSソフトウェアのアップグレードおよびダウングレードガイド](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。